

利根中央病院

病院



だより

第29号
2012年新年号

企画発行 利根中央病院地域連携室
〒378-0053 群馬県沼田市東原新町1855-1
電話 0278-22-4325(直通) FAX 0278-22-4393
URL <http://www.tonehoken.or.jp/>
E-Mail master@tonehoken.or.jp

理念と方針

理念 安心と安全、参加と協同
患者中心のチーム医療

方針 救急体制の充実、いつも安全確認
絶やさぬ笑顔
診療情報提供と共に作る診療計画
広げよう人と人との結びつき
すすめよう健康づくりまちづくり

ことしも
よろしく
お願い
致す



2012年新年号特集

年頭あいさつ	利根中央病院 院長	糸賀俊一
「当院外科の鏡視下手術」	外科部長	郡 隆之
第5回災害訓練実施報告	災害対策委員会	
各種予約についての紹介	地域連携室	
第1回 沼田利根医師会・利根中央病院		
	情報交換会	報告
地域連携室・相談支援室紹介		



地域の医療機関と密に連携し 一緒に地域の医療を守る

利根中央病院 院長
系賀俊一



新年 明けましておめでとうございます

昨年の3月11日東日本大震災では、当院でもDMAT隊や多くの職員が支援に参加し、災害に対する認識を改めさせられた出来事でした。

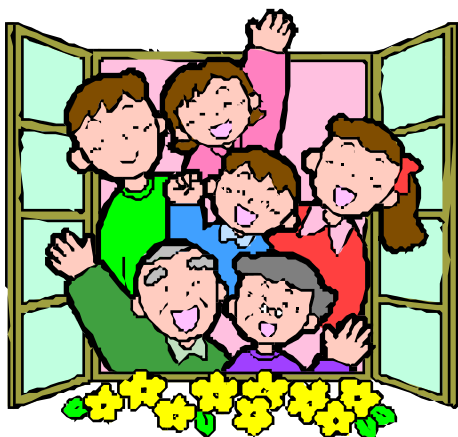
当院も開設以来最大の危機に直面した年でした。医師不足による救急外来一部の診療制限、循環器外来患者さんを他院への紹介など、多くの患者さんには大変ご迷惑をおかけ致しました。また、受入れをして下さった医療機関の方々には大変お世話になりました。

病院の先行きに不安を感じながら、各方面から支援を頂き、精神科病棟閉鎖という事態を乗り越え、外来患者数は800人/日を超えるまでに回復致しました。入院患者数も200床/日前後と精神科病棟閉鎖の影響も最少限にいくとどめられたことは、職員全員の奮闘の賜物と感じています。

本年度は病院建設の具体的な開始、跡地利用の検討、電子カルテの採用準備等多くの乗り越えなければならない課題が待っています。どれも先延ばしはできません。

今年も地域の医療機関と連携を密にし、皆さんと一緒に地域の医療を守っていくことを第一の方針と考えています。

新年にあたり、皆様方のご健康とご多幸をお祈りします。本年もご指導・ご協力をよろしくお願いいたします。



「当院外科の鏡視下手術」

外科部長 郡 隆之



当科では、胆石症、呼吸器疾患（気胸、肺癌）、早期胃癌、早期大腸癌に対して、鏡視下手術を行ってきました。現在、縦隔腫瘍、進行大腸癌、急性虫垂炎、急性胆嚢炎に対しても適応を拡大しております。今回当院で行っている主な手術疾患についてご紹介いたします。

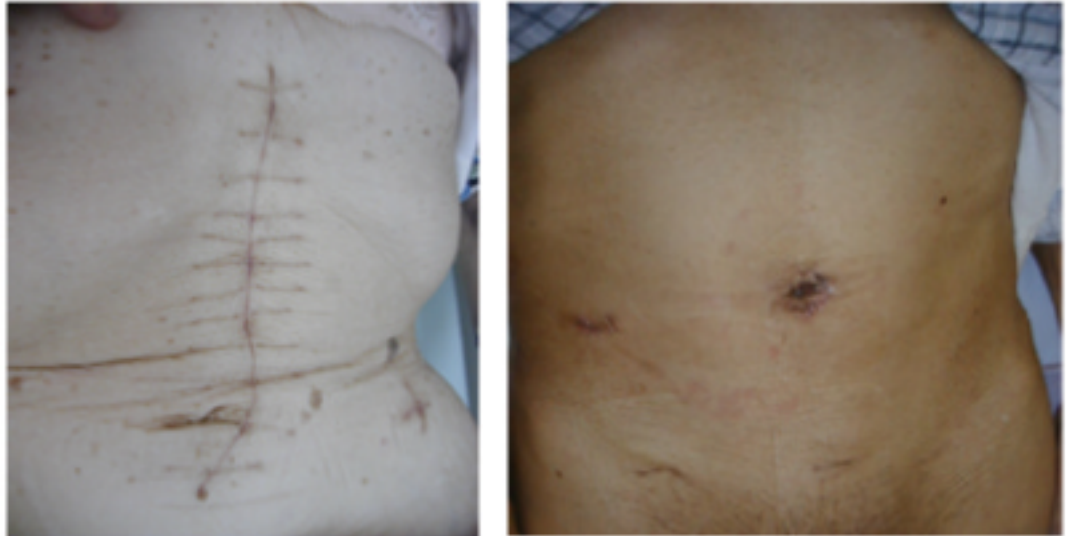
胆石症・胆嚢炎：胆嚢摘出術は、臍を含めて4か所の穴で手術を行いますが、最近は臍だけで手術を行う単孔式手術も症例を選んで行っています。また、炎症が高度でなければ胆嚢炎でも腹腔鏡下手術は可能です。開腹手術の既往がある場合は審査腹腔鏡を行い癒着が軽度であれば腹腔鏡下手術を行っています。

胃癌：早期癌に対する幽門側胃切除を腹腔鏡下で手術しております。臍を含めて5か所穴をあけて胃および付近のリンパ節を切除します。その後上腹部に約5cmの傷口をあけ、そこから切除した胃を外に取り出し、残った胃と十二指腸を吻合します。進行癌と胃全摘術は開腹で行っています。

虫垂炎：虫垂炎では、臍を含めて3ヶ所の穴をあけて虫垂を切除します。若年者に多い疾患のため、特に若い女性では傷が目立たず美容的にも有用です。炎症が強いときや腸管切除をしなければならない場合は開腹手術になります。



大腸癌：大腸癌に対する腹腔鏡手術では臍を含めて5カ所穴をあけて大腸および付近のリンパ節を切除します。その後腹部に約5cmの傷口をあけ、そこから切除した大腸を外に取り出し、吻合します。切除する範囲や、吻合の仕方は開腹手術と同じです。導入当初は早期癌に対してのみ行っていましたが、今年度からはリンパ節転移を画像上認めない進行癌も適応としております。腫瘍径が大きかったり、リンパ節転移が広範の場合は開腹で行っています。



大腸癌の手術創の比較（左 開腹、右 腹腔鏡）

手術件数の比較

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度（9か月間）
胸部	22	20	19	9
消化管	3	4	11	15
胆嚢	19	20	12	18

第5回災害訓練行われる

東日本大震災の記憶もまだ薄れぬ平成23年11月12日、第5回を数える災害訓練が行われました。病院は災害に対して、地震や火災など病院自体に被害が及ぶ場合と、事故などの多数の傷病者が来院する場合の両方に備えなければなりません。今回の訓練は病院自体の被害はなく、「みなかみ町での旅館ガス爆発事故、負傷者90名のうち約60名が当院に搬送される」という想定で開始されました。

< 訓練全体の進行 >

消防からの情報で災害対策本部を立ち上げる。

職員を召集し、人員配置を行う。

病院内へ重症度別に傷病者が搬入される。

傷病者の診療を行い、必要な緊急処置や検査を行う。

入院や転院が決定され、根本的な治療が開始される。

< 当院における災害対応の特徴 >

職員の人員配置：あらかじめ役割を決めていたのでは、実用的ではありません。召集された職員ひとりひとりに、カードが配布されます。そのカードには個人の業務内容や活動場所が書かれており、それに沿った業務を行えば良いこととなります。業務内容は、カードが手渡されるまでわかりません。平日にも休日夜間にも対応できるのが特徴です。

傷病者の診療は、災害に関して専門的な教育を受けた院内認定看護師（トリアージナース）が行うことになっています。災害時には、普段の救急とは違う対応が求められるため、病院全体の診療能力を向上させるために、これらのトリアージナースが重要な役割を担っています。

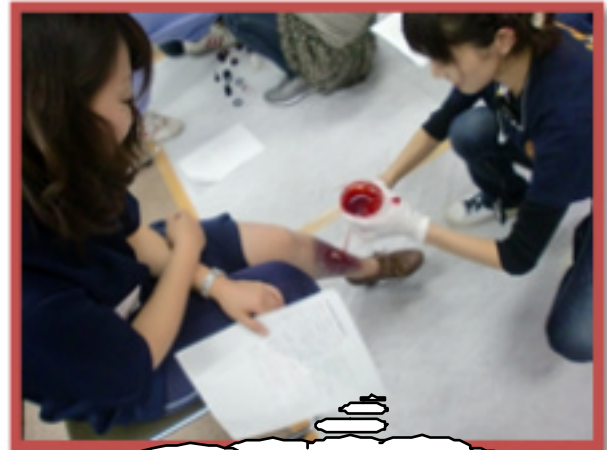
トリアージナースは昨年まで二十数名でしたが、今年、新たに講習会を開催して総勢80名を超えるまでになりました。



看護部・事務部が集合し、グループごとに、各ゾーンや役割場所へ振り分けられます

特殊メイクで実戦さながらに

種々の傷メイクを施された約60名の模擬傷病者が次々と運ばれ、診療がされていきます。診療のみならず、傷病者の情報をどのように管理して行くか迄もが求められています。中には、途中で具合が悪くなる人などもあり、実戦さながらの訓練となりました。



負傷部位を作成中



プロの救出劇も…

終了後には災害時の現場の活動を知ってもらうために、利根沼田広域消防本部の救助隊・救急隊に加え、当院のDMAT隊（災害医療班）を交えた傷病者救出のデモンストラーションを供覧しました。

イエローゾーン



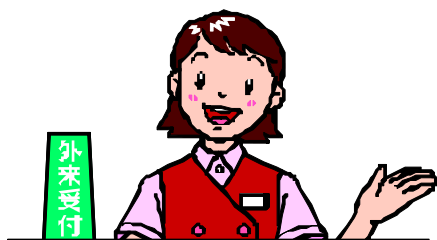
グリーンゾーン



レッドゾーン



各種予約についての紹介



地域連携室が窓口となり対応しています

TEL:0278-22-4321(代表) 内線211

CT・MRI 検査 (月曜日～土曜日)

検査に必要な書類が、ホームページよりダウンロード出来ますのでご利用下さい。検査に対して専門的な診察が必要な場合は、予約時にご相談をさせて頂いております。

胃カメラ・大腸カメラ 検査 (月曜日～土曜日)

検査に必要な書類が、ホームページよりダウンロード出来ますのでご利用下さい。

超音波検査 (月曜日～土曜日)

腹部エコー、頸部エコー、心エコー
検査に対して専門的な診察が必要な場合は、予約時にご相談をさせて頂いております。

心電図検査 (月曜日～土曜日)

心電図、ホルダー心電図
検査に対して専門的な診察が必要な場合は、予約時にご相談をさせて頂いております。

骨密度検査 (月曜日～金曜日 木曜日の午後は休み)

DEXA法にて腰椎・大腿骨頸部など骨折を生じやすい部位を測定致します。
検査後に婦人科へ受診して頂き、結果説明も行っております。

睡眠時無呼吸症候群検査

内科呼吸器外来に紹介して頂き、検査の検討をさせていただきます。精査検査には1泊2日の入院が必要となりますのでご了承ください。

栄養食事指導(月曜日～土曜日 9:00～9:30)

食生活が治療に関わってくる糖尿病患者様を中心に、4回程を目途に管理栄養士が栄養食事指導を行っています。専用の「診療情報提供書」がホームページのっていますのでご利用下さい。また、他の疾患でも必要な患者様がいらっしゃいましたらお問い合わせ下さい。

糖尿病教育入院

内科糖尿病外来へご紹介下さい。

1～2週間程入院して頂き、糖尿病の基礎知識と自己管理法について、専門スタッフと一緒に勉強して頂きます。また、合併症の精査を行い治療方針を見出した上で、紹介元へお返ししてまいりますので、是非ご利用下さい。なお、お忙しい方向けの4日間検査入院もお受けしておりますのでご相談ください。

禁煙外来(水曜日の午後)

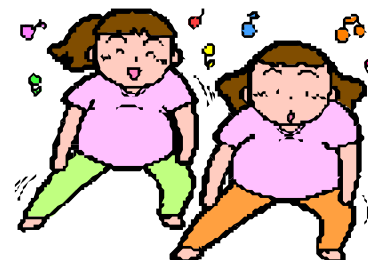
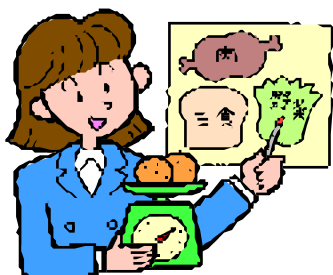
内科禁煙外来へご紹介下さい。

保険診療対象期間は3カ月で、初診を含め5回の通院が1クールとなっています。担当医師・看護師と禁煙の障害となるものを一緒に解決しながら、禁煙に向けてコーディネートさせていただきます。

マタニティーヨーガ (毎月最終週の水曜日または金曜日)

妊娠経過が順調な妊婦さんを対象に、腰痛・肩こり・足のつりなどの不快症状やストレスを和らげて頂き、健やかな出産に必要な心と身体づくりに、役立てて頂いています。

初回参加登録料1000円頂いています。(2回目からは出産まで無料です)



第1回 沼田利根医師会・利根中央病院 情報交換会開かれる

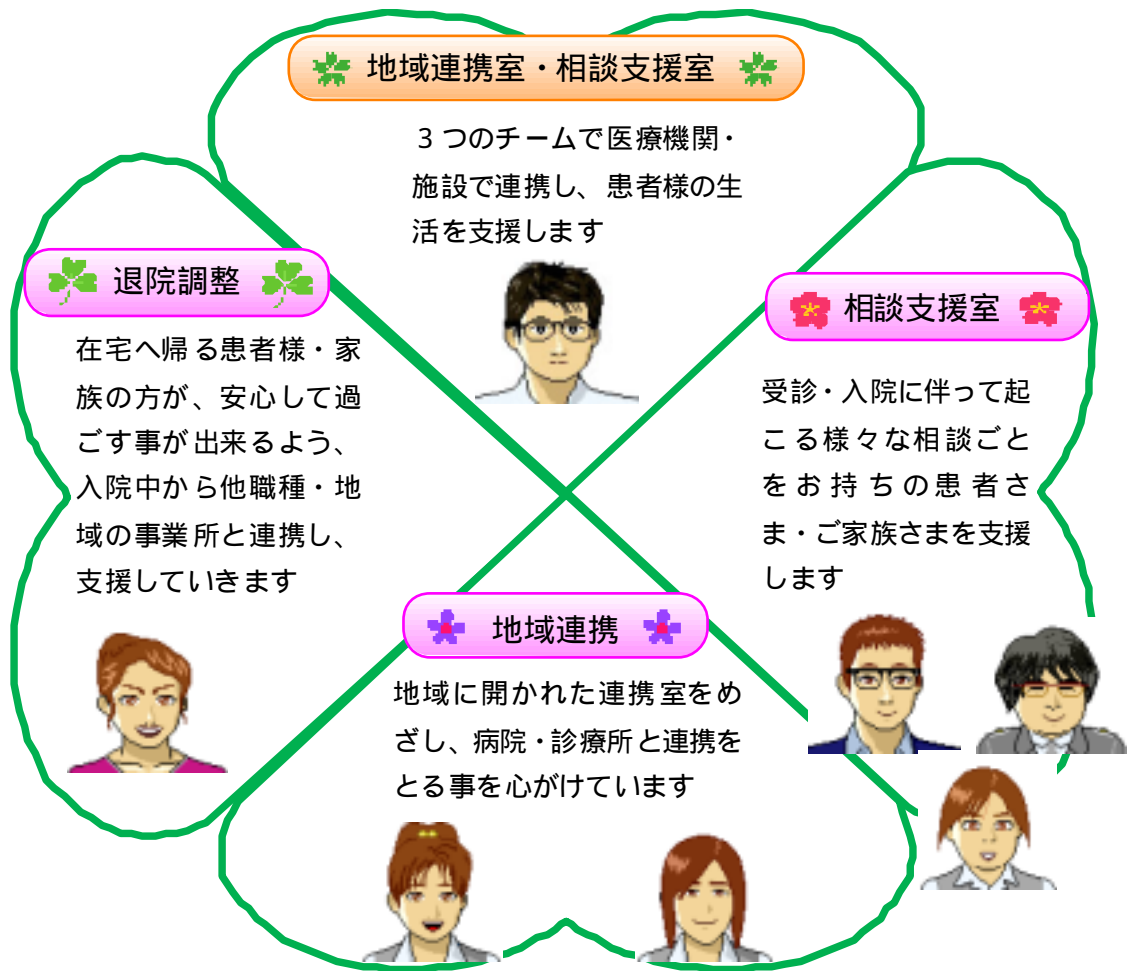
11月25日（金）当院で初めての試みとなった情報交換会が行われました。当院から各科の紹介を行い、医師会からも沢山の先生方に参加していただきました。

情報交換会の目的を果たすことができ、会が終わった後も話がはずみ、和やかに閉会する事が出来ました。次回の情報交換会開催へ向けて、一歩踏み出す事ができた会となりました。



地域連携室・相談支援室紹介

地域連携室・相談支援室では、地域の皆様の健康の保持増進のために、地域の医療機関、介護事業所施設、地域住民の皆様とのネットワーク作りを合言葉に、地域連携をスムーズに進める一助になれるよう、チームワークとフットワークを良く明るい対応を目指します。



本年も よろしくお願い致します



癒しの めだか



地域連携室・相談支援室の前には1年ほど前から『めだか』が住んでいます。小さいお子さんから大人まで、受付・薬局の待ち時間などに声をかけて頂いています。手を入れてしまうお子さんを心配していましたが、みなさんに見守られとても人気物です。（白いめだかは珍しいみたいです）

